

2007年8月1日

報道関係者 各位

株式会社 千趣会  
千趣会ゼネラルサービス株式会社

## 今年も8月より、聴導犬の育成をサポートいたします！

株式会社 千趣会(本社 大阪市、社長 行待裕弘)の子会社である千趣会ゼネラルサービス株式会社(以下「SGS」という、本社 大阪市、代表取締役常務 吉田英雄)では、今年8月より三代目となる新たな聴導犬の候補犬1頭の育成を支援してまいります。

聴導犬とは、耳の不自由な人の耳のかわりとなって、目覚まし時計や笛吹きやかん、玄関や電話のベル、非常ベルなど、生活にかかせない様々な音を知らせてくれる犬のことです。

「聴導犬」は、社会福祉法人 日本聴導犬協会(所在地 長野県上伊那郡宮田村、会長 有馬もと氏)が育成し、聴覚障害者の方に無料貸与しています。候補犬は、捨て犬などの飼主のいない犬たちから選ばれ、運営費や育成費は、すべて寄付金や助成金、募金などで支えられています。現在、聴導犬の数はアメリカでは約5000頭、イギリスは約1000頭に対し、日本では13頭にすぎず、他の先進国に比べて大きく不足しているのが現状です。

SGSでは、カード会社6社と提携している千趣会メンバーズカードの収益の一部を協会に寄付することで、2003年より4年にわたって一代目「すや」、二代目「べる」という候補犬の育成を支援してきました。今年8月からは、千趣会の社名から名付けられた新たな候補犬「せん」の育成支援をスタートいたします。

千趣会メンバーズカード会員の皆様には、利用明細書とともに、聴導犬の役割や現状について理解を深めていただこうと聴導候補犬の詳細な成長記録をつづった「やさしさ通信」(A4版・年4回発行)をお届けしております。お客様からは「毎号楽しみにしています」との声が多く寄せられ人気を集めています。「やさしさ通信」はSGSウェブサイトでも閲覧できます<http://www.sgs21.com>



聴導犬の候補犬「せん」



候補犬の成長記録「やさしさ通信」

SGSでは、今後も聴導犬の育成を積極的にサポートすることにより、ささやかながら社会貢献の種をまきたいと考えております。

本件に対する問い合わせ先

千趣会ゼネラルサービス株式会社 大阪市北区同心 1-6-27 マーケティング開発部 幸井  
TEL 06-6881-3031 FAX 06-6881-3060 E-mail [k-koi@senshukai.co.jp](mailto:k-koi@senshukai.co.jp)